

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	災害発生時に備えて、非常用食料、飲料水、トイレや寒さをしのげるような備品等を事業所に準備していない。	火災など非常時にも利用者の身の安全を確保できるよう備蓄を行うとともに、昼夜を問わず利用者が安全に避難できるよう定期的に訓練を行う。	非常用食料、飲料水、トイレや寒さをしのげる備品等を確保し、災害発生時でもパニックに陥ることなく利用者の安全を守り速やかな避難誘導につなげていく。又、定期的に防災訓練を実施し、職員間の防災への意識を高めるとともに地域からの協力体制を整えておく。	12ヶ月
2	35	重度化や終末期のあり方について対応を家族と話し合っているが、方針の明文化はされていない。	重要事項説明書に明文化するとともに、利用者が安心して介護サービスを利用できるよう援助を行う。	重要事項説明書に明文化するとともに、グループホーム入所時においても、本人、家族に対して重度化した場合の説明を行うなど事前に特養入所等への意思を確認しておく。又、重度化した場合においては特養等関連機関へ優先的に入所して頂けるよう援助を行う。	12ヶ月
3	47	利用者が毎日いつでも入浴できるように取り組んでいない	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しんで頂けるよう援助を行う。	利用者が毎日でも入浴したいとの希望がある場合は、本人の意向を最優先に尊重し満足感を与えられるよう支援を行う。又、必要に応じて声かけを工夫したり、時間を置いて対応を行うなど利用者が無理なく入浴して頂けるよう援助を行う。	12ヶ月